

あなたと議会を結ぶ情報誌

令和2年8月
No.201

議会だより はこね

7月23日 箱根登山電車が運転再開

小田急箱根グループ提供



主な内容

- 6月定例会 審議結果等…………… P 2～3
- 一般質問…………… P 4～8
- 常任委員会報告…………… P 9
- 新型コロナ緊急対策等…………… P 10～P 11
- 我が家の自慢等…………… P 12

専決処分

○令和2年度一般会計補正予算（専決第2号）について

補正額 2,500万円追加

※新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている町内経済を活性化する予算 箱根ファン創出事業として、観光クーポン券事業(4,000セット) 2,000万円、委託料500万円

条例制定

○箱根町固定資産評価審査委員会条例及び箱根町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○箱根町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○箱根町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○箱根町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算

令和2年度箱根町一般会計補正予算（第2号）※質疑の抜粋は次頁に掲載しています

補正額 187万8,000円追加

主な内容

①電子計算処理推進事業負担金追加…32万8,000円

②新型コロナウイルス感染症緊急対策事業追加等…512万円

③小学校中学校教育振興費の経常経費更正減…△357万円

※①は児童手当システム改修負担金、②は小中学校バス借り上げ料等

令和2年度箱根町一般会計補正予算（第3号）

補正額 6,104万1,000円追加

主な内容

・経営安定緊急融資事業追加 6,104万1,000円

工事請負契約

①工事名 ②落札事業者 ③契約金額

1. ①総合保健福祉センター外壁タイル改修工事 ②丸要建設 ③5,412万円

2. ①仙石原公民館ホール改修工事 ②箱根建設・共栄建設 ③3億2,483万円

3. ①総合体育館吊り天井耐震化工事 ②箱根建設・丸要建設 ③2億6,400万円

物件供給契約

①購入物件名 ②落札事業者 ③契約金額

1. ①ハイブリッド式非常用可搬型発電機（16台） ②ヒラボウ箱根営業所 ③1,087万6,800円

2. ①高規格救急自動車 ②神奈川日産自動車 ③2,057万円

3. ①高規格救急自動車用医薬品・医療器具 ②日本船舶薬品 ③1,344万2,000円

4. ①消防ポンプ自動車（第5分団、第1部） ②モリタ東京支店 ③2,497万円

6月
定例会

会期

6月11日から
23日まで*

※一般質問の質問時間が60分から50分に短縮され、議案審議も簡潔に進んだことから、定例会最終日前の17日に閉会しました。

承認(1件)

専決処分
1件

可決(15件)

条例改正
4件

補正予算
2件

工事請負契約
3件

物件供給契約
4件

町道路線の変更
1件

同意(2件)

人事案件
2件

報告
4件

町道

- 町道路線の変更（一部廃止及び道路区域の変更）
- 1. 湯185号線 2. 箱100号線

人事案件

- 監査委員の選任について 秋山 英一さん(湯本在住)(前委員任期満了に伴う後任)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について 塩川 嘉昭さん(仙石原在住)(任期満了に伴う再任)

報告

- 令和元年度箱根町一般会計予算継続費の繰越しについて
 - 令和元年度箱根町一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
 - 令和元年度箱根町公共下水道事業会計予算継続費の繰越しについて
 - 公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について
- 財団の事業報告及び、元年度決算、2年度予算等について町から報告を受け、その後6月30日に教育福祉環境常任委員会で財団の方との意見交換会を行いました。

補正予算第2号の質疑 抜粋

- Q: 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業の内容は。
- A: 学校再開後の感染対策用の消耗品を購入する経費に60万円。
小中学校の登下校時にバスを使用している児童生徒に対し、7～9月までの間、スクールバスを活用すると共に、借り上げバス等を充てる費用として390万円。
小・中学校の修学旅行は日程を変更して実施する方向で検討している。
- Q: 学校の消毒はどのようにされているか。
- A: 児童・生徒が下校後、教職員によって、児童・生徒が触ったであろう箇所を日常的に清掃している。



議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田	勝俣	勝俣	川口	勝俣	小川	村野	川端	山田	稲葉	遠藤	沖津	折橋	石川	
			和江	公好	泰彦	延明	剛一	鶴雄	由紀子	祥介	成宣	親太郎	秀則	弘幸	尚道	栄	
39	箱根町固定資産評価審査委員会条例及び箱根町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に参加しません。

令和2年6月1日発行『議会だより200記念号』P.7歴代議員名の当選回数につきまして、内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

【誤】 稲村得寿 当選回数5回 ⇨ 倉橋 啓 当選回数5回

【正】 稲村得寿 当選回数6回 ⇨ 倉橋 啓 当選回数6回

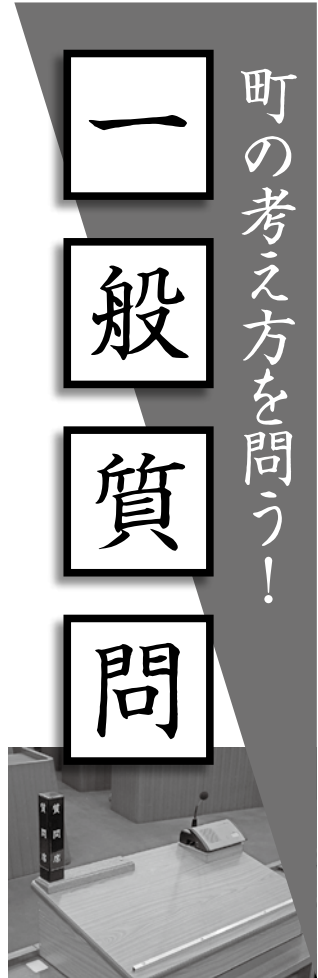
6月定例会では、町政全般へ9人の議員が、14項目にわたる一般質問を行いました。

質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。

なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
山田 成宣	・町長の施政について ・教育長の教育方針について	4
勝俣 公好	・子育て支援について	5
勝俣 泰彦	・仙石原すすき草原の景観保全等について	
折橋 尚道	・地域防災計画見直しと地域防災力強化	6
勝俣 剛一	・老人福祉生活支援	
村野由紀子	・箱根町防災対策について ・学校ICT環境整備について ・健康増進法改正に伴う受動喫煙対策について	7
川端 祥介	・新型コロナウイルスに対する箱根町の対策について	
遠藤 秀則	・公共施設の統廃合について	8
山田 和江	・新型コロナウイルス感染症対策について	
	・学童保育の民営化について ・箱根登山バスの「ハーフ65」の廃止について	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。



町長の進退を表明いただきたい

町 — 新たなリーダーに箱根を託す!! (勇退を明言)



Q 満了を迎えるが、引き続き町政を担い箱根のリーダーとなるのか、新たなリーダーに箱根を託すのか。率直な心境を町民にお伝えしていただきたい。

A 山口町長は11月に任期満了を迎えるが、引き続き町政を担い箱根のリーダーとなるのか、新たなリーダーに箱根を託すのか。率直な心境を町民にお伝えしていただきたい。

Q 災害時、有事の際への財政面での備えは

A 町長 これまでを振り返ると、首長という仕事は、まず健康が一番大事と感じている。20年間町政の舵取りをさせていただいたのは、多くの人の理解と協力のおかげ。何より健康であったからこそ。いろいろな課題に対する気力や根気、思考力などが発揮でき、長い間町政に携わ

5期目の任期満了時には76歳になる。年を重ねることに健康への不安があった。こうした状況で健全な町政を担えるかと自問したときに、新しいリーダーにお願いすることが最適と考えた。20年の任期をもって町政運営から手を引かせていただきたい。



山田 成宣 議員

コロナ禍における子育て支援をより手厚くできないか

町 — 今後、状況を注視し、必要なら速やかに実施する



勝俣 公好 議員

Q 新型コロナウイルスにより、観光立町である箱根は、観光客が減少し、住民は観光産業で働いておられる方が大多数のため、収入の減少が顕著である。どの家庭も家計が大変であり、特に子育てをされている家庭は、より大変であると思われる。

町は5月臨時会の補正予算として、新型コロナウイルスに係る緊急対策に子育て支援策を含んだ予算を立てた。しかしながら、政府はコロナウイルスとの戦いは長期戦を覚悟し、今後、第2波・第3波の可能性に備える必要があると予測している。

そこで、次の3点の町独自の子育て支援策について、一度きりだけでなく、今年度中に複数回実施できないか伺う。

①ひとり親世帯への特別給付金として、児童扶養手当を受給している世帯に対し、1世帯3万円を給付。

②高校生等世帯への特別給付金として、高校生がいる家庭に1人あたり1万円を給付。

③今後、再度臨時休校、休園となった場合も、こども宅食サービスの負担軽減。

A 町長 すでに国内でも第2波到来を懸念されている地域もあるなど、新型コロナウイルスとの戦いは長期戦を覚悟しなくてはならない。今後の状況に注視し、支援が必要と判断したときは、速やかに実施し、子育て世帯が安心して子育てが行える環境づくりに努める。



仙石原すすき草原の景観保全等

町 — 大切な自然資源のより良い保全を心掛けていく



勝俣 泰彦 議員

Q 山焼き中止によるすすき草原への影響は

A 町長 現地調査の結果、刈草は県道沿いは搬出され、草原内も広範囲に散布され、植生に影響する箇所は無く、景観を損なう状況も見受けられない。

Q 植生等の調査結果は

A 町長 3年に一度専門家による「植生調査、昆虫・小動物の生息調査」を実施。植生の調査結果は、一時は数を構成する低木類が増し、草原から森林化の方向に進み、景観が失われ、すすき草原の持続性が危惧されていたが、山焼きの成果により失われた植物等も増加傾向にあり、ススキの旺盛な成長も見られ草原の景観も復活した。

昆虫・小動物の生息調査結果は、平成29年度は「箱根町蝶の会」会員、仙石原在住の白戸さんに依頼し、蝶や昆虫

類を調査した結果、数多くの蝶類や固体が目撃でき、調査対象50種中37種を確認とのことで、仙石原湿原が唯一の生息地である「コキマダラセセリ」も複数確認と報告があった。昆虫類は23種が確認でき、神奈川県絶滅種に指定されている「アサカミキリ」も複数確認できたが、目撃できる種は減少傾向になっており、鹿の食害・湿原の乾燥・夜間照明増加等の影響が懸念される事から、引き続きモニタリング調査を実施し、大切な自然資源の保全に心がけて行く。



すすき草原の山焼き

地域防災計画見直しと地域防災力強化

町 — 地域連携を高め弱点を補いながら活動していく



折橋 尚道 議員

Q 台風19号に関する被害の取りまとめと、被害の経験から生かされる今後の対策、138号線、南箱道路等の復旧は

A 町長 被害状況と対応、課題と対策は、担当課において取りまとめしており、明らかになった課題を整理し次に活かす方策を全町的に検討し改善していく。

138号線本復旧は、トンネル類似形状の防護用建造物を設置する方法で検討が進んでいて、現時点での完成目標時期は未定である。1号は本年度内に、県道736号御殿場箱根は10月末までの完成予定。南箱道路の開通予定は明確に示されていない。

Q 大規模災害が発生した場合、公助の限界が生じ、地域コミュニティの防災力強化が重要となるが、その時の自治会、自主防災組織、消防団等役割の明確化が必要では

A 町長 地域での自主防災活動は消防団が中核となっていて進めていくのが最も心強いと思われる。各家庭への連絡なども行えるため、消防団と自治会が相互に連携してお互いの強みを生かし、弱点を補いながら活動していただきたい。

Q ハザードマップの読み方、自宅からの避難等の個別の「逃げ地図」の作成など、一人一人に応じた防災意識の向上と行政による指導は

A 総務防災課長 家の周囲の危険を知り、危険を回避し避難するように自分専用の防災マップを用意しておくことは大事なので、その動機付けと作り方の助言ができればと準備を進めている。

Q 大規模災害が発生した場合、公助の限界が生じ、地域コミュニティの防災力強化が重要となるが、その時の自治会、自主防災組織、消防団等役割の明確化が必要では

A 町長 地域での自主防災活動は消防団が中核となっていて進めていくのが最も心強いと思われる。各家庭への連絡なども行えるため、消防団と自治会が相互に連携してお互いの強みを生かし、弱点を補いながら活動していただきたい。



町の防災訓練

老人福祉、文化的生活を営むための対策は

町 — 地域の実情にあった包括ケアシステムの構築を進める



勝俣 剛一 議員

Q 老人福祉生活支援策について、健康で文化的な生活を営むため、日常生活に必要なサービスが求められる。当町においては、病院や商店の確保が出来ず、更に移動の手段の確保さえ困難な地域もある。

A 町長 高齢化が進む中、高齢者を地域で支える地域包括ケアシステムを構築するため、地域包括支援センターを中心に地域の実情にあった仕組みづくりを進めている。

現在、民生委員児童委員協議会や自治会、女性会、ボランティア団体等を構成員とする生活支援介護予防体制整備推進協議会を設置し、今年度は高齢者の引きこもり防止を兼ねた買い物支援サービスを試行実施し、その結果を検証して、買い物支援サービスのあり方をまとめるほか、病院

等への通院支援など高齢者の生活支援サービスを検討している。

平成30年度からは委託により、町社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、買い物支援や通院支援を希望する高齢者と地域のボランティアとのマッチングを行うなど、高齢者のための生活支援サービスの向上を図っている。今後も引き続き高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の特性に合った地域包括ケアシステムの構築を目指していく。



新型コロナウイルスに対応した避難所運営と小・中学校のオンライン学習

町 — 新たな運営の検討と段ボールベッドの設置とオンライン学習の検討



村野由紀子 議員

Q 避難所の新型コロナウイルスの対応で大事な事は、本来は災害を避ける事が最優先だが、町民が感染を恐れて避難をためらうてしまふ事への対応となる。

A 大規模震災など町に甚大な被害が発生した時などに協定を結んでいる宿泊施設や学校の体育館などに切り替えたり避難所を増やす考えはあるのか。

A 総務防災課長 収容人数の不足に対しては大きな施設を避難所として確保することが望ましく学校の体育館も開設を考える。

Q 避難所・避難生活学会「数十センチ高さがある段ボールベッドに寝起きすること、床付近に多い埃やウイルスを避け寒さ対策となり、エコノミー症候群の予防につながる。」と言っている。そこで、避難所へのベッド導入の考えは

A 総務防災課長 南足柄市の段ボール会社との間で協定を結ぶ予定。災害発生後ベッドや間仕切りの数を注文、72時間以内に避難所に届く体制となっている。

Q 小・中学校のオンライン学習の実施の考えは。

A 教育次長 家庭におけるインターネット通信環境等の状況について調査を実施し、その結果、今後、ICT機器を活用した学習について検討を進める。

まずは中学校でYouTubeなどの動画配信サービス等の活用について研究する。



畳にテープを貼り、避難者同士の間隔を取るようにした避難所

新型コロナウイルスの観光振興対策

町 — 地元町民の観光施設等への優遇利用も今後検討していく



川端 祥介 議員

Q 今後、宿泊施設の本格的稼働について、どのように再開準備をすすめていくのか、町の方針を伺う。

A 町長 従業員及び、宿泊客等のマスク着用・手指消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である、接触感染と飛沫感染について安全・安心につながる施設の環境づくりを十分行っていたきたい。

また、各施設において、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図り、国際観光地として、新しい生活様式を踏まえた衛生意識の高いおもてなしでお客様をお迎えできるものと考えている。

Q マイクロツーリズムという言葉が流行っている。まず安全な領域の地元の方から、優遇して宿泊施設の利用を推進する方策である。なお、その際、長崎・雲仙市、栃木那須塩原市等で行っ

ている地元泊まって応援キャンペーンなどをどのように考えるか。

A 企画観光部長 今、提案されたようなことも含め、今後いろいろと検討して行っていきたいと思う。



湯本の商店街

公共施設の統廃合について

町 — 財政上の制約で全ての施設の維持は困難であることを粘り強く周知していく



遠藤 秀則 議員

Q 多くの災難が続く中、今年度の税込等歳入が大幅に減少することは明らかで、今後何が起るか分からない現状である。長く続く財政難、固定資産税ありきでなく、歳出削減。町民負担軽減のため、公共施設の統廃合を実施できないか。

A 町長 令和4年まで公共施設の延べ床面積6%、約6,700㎡の削減。財政負担軽減を意識した取り組みを実践している。

Q 消防団第6分団詰所は築後50年と古く、宮城野出張所をさくら館に移設し、出張所と分団詰所の併合を、また、老朽化の箱根出張所を箱根幼稚園か旧箱根小学校へ移転するなど、施設老朽化は大きな問題であることから、私の議員活動のライフワークとし、一般予算等で質問をしてきた。財政状況が厳しくなることを考え、取り組みを加速させるべきと思うが。

A 企画課長 令和4年まではロードマップに位置付け、再編整備計画を進め、最小の経費で最大の効果を、町民と問題意識を共有し、町民参画による公共施設マネジメントの取り組みを進める。



さくら館

PCR検査を積極的に行う体制を

町 — PCRが必要であれば、帰国者接触者外来の受診を



山田 和江 議員

Q 事業活動の再開に伴い観光客が増加すると思うが、町としての感染防止策の考えは

A 町長 感染拡大防止と社会経済活動との両立を図るため、新しい生活様式への移行と定着が重要だ。町民、観光客事業者に対して3つの密の回避や手洗いマスクの着用、社会的距離の確保などをあらゆる機会に呼びかけていきたい。町施設では検温を行い発熱者の入場を制限し、定期的消毒もする。

Q 秋になるとインフルエンザも流行する。コロナと同じような症状で混乱を招くのではないかと指摘されている。町としても積極的なPCR検査の体制が必要ではないか。

A 保険健康課長 インフルエンザの検査でそうではないとわかれば症状により、医師の判断で帰国者接触者相談センターに相談し、PCR

が必要であれば帰国者接触者外来に受診する。

Q 介護施設、医療など人と対応する施設で働く人にはPCR検査を積極的に受ける措置を講じるべきではないか。インフルエンザの流行に備え小中学生などに無料で予防接種をするのも効果があるのでは

A 福祉部長 県主催の地域医療構想調整会議でも医師からインフルエンザとコロナの危惧がいわれた。町としてどのような対応がいかか考えていきたい。

Q 全国的に医療機関がコロナで患者が減り大変になっている。支援が必要ではないか。

A 福祉部長 国の動向を見ていきたい。



総務企画観光常任委員会 報告

当委員会は、未だ収束が見えない、新型コロナウイルス感染症に係る当町の施策の検証を目的に6月15日と6月30日に委員会を開催致しました。

1回目の委員会としては、今まで議会及び全員協議会等で町側より報告された感染症関係の報告等に基づき検証を行い、正副委員長で精査したところ、大きく5つの項目にあてはまることを確認した後、それぞれの項目を町担当課毎に資料を作成して頂き、6月30日の月例日に第2回目の新型コロナウイルス感染症に係る委員会を副町長を始めとする担当部課長及び委員会委員出席の元、以下の5項目、1. 町が実施した新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策 2. 町税の収納状況 3. コロナウイルス感染症の影響を受けて見直した事業等 4. 公共交通機関の状況 5. 今後の誘客活動 6. その他について1項目ずつ担当課から説明後、質疑を行いました。

委員長 稲葉 親太郎



6/15 各委員から意見を聴取



6/30 町より説明を受け、質疑を行う

教育福祉環境常任委員会 報告

新型コロナウイルス感染症対策のための小・中学校の対応、教育活動について6月23日委員会を開催しました。教育委員会より、登下校方法、給食の様子などスライドで説明を受けました。

各委員からは、登下校のバスの車内での感染防止対策、学習計画や対応などについて多くの質問や意見がありました。引き続き協議を行いながら調査研究を進めていきます。

また6月30日には、箱根町文化・スポーツ財団との意見交換会を開催し、令和元年度については、ほぼ計画通り実施され、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で、現時点ではほとんどの事業が実施できていない大変な状況です。財団の中村事務局長は「6月から少しずつ動き出しているので、各団体に事業の検討を行い工夫して開催する。」というお話でした。これからも健全な運営に努めていただき、箱根町の文化・スポーツの振興のために、議会でも応援して参ります。

委員長 村野 由紀子



6/23 児童・生徒の登下校方法等を確認



6/30 社会教育センターで文化・スポーツ財団と意見交換

新型コロナ緊急対策で 総額およそ4億円を取り崩し (6月17日時点)

現金支給・補助事業 実施状況 (7月13日まで)

	対象数	支給済数	支給割合
1 特別定額給付金 (国の事業) (1人10万円支給)	6,998世帯	6,693世帯	95.6%
	11,429人	11,105人	97.2%
2 子育て世帯臨時特別給付金 (児童1人1万円支給・6月16日 時点) ※公務員分は除く	751人	751人	100.0%
3 高校生等世帯への特別給付金 (生徒1人1万円支給)	139人	134人	96.4%
4 ひとり親世帯への特別給付金 (対象1世帯3万円支給)	79人	76人	96.2%

	申請数	交付済数	交付済額
5 観光事業者等緊急支援補助金 (対象事業に上限30万円補助)	673件	583件	1億6,161万5千円

	申込数	融資実行件数	融資実行額
6 経営安定緊急融資事業 (無利 息・無担保で上限500万円融資)	105件	101件	4億4,030万円

令和2年度 入湯税等大幅減!!

	令和2年度 第1期分 (納期 6/1)	令和元年度 第1期分 (納期 5/31)	増 減	対前年度
固定資産税	8億311万7千円	8億3,241万4千円	△ 2,929万7千円	△ 3.5%
軽自動車税 (種別割)	1,325万5千円	1,369万9千円	△ 44万4千円	△ 3.2%

	令和2年度 (納期 6/1)	令和元年度 (納期 5/31)	増 減	対前年度
入 湯 税	4,385万4千円	1億385万6千円	△ 6,000万2千円	△ 57.8%

※表にする関係で四捨五入しているため実際の収入とは異なります。

今年度 事業計画の見直しで、1億5,250万円を捻出

削減額

観光関連 9件	インバウンド観光推進事業 国際親善交流事業 国際観光プロモーション実施事業 等	3,387万6千円
整備関連 5件	町道湯71号線道路整備事業 町道湯2号線道路整備事業 町道湯2号線道路改良整備事業 等	3,931万8千円
福祉関連 6件	老人生きがい対策事業 町営住宅整備事業 健康づくり推進事業 等	1,354万2千円
オリンピック 関連 3件	東京2020大会ホストタウン事業 東京2020大会聖火リレー応援事業 東京2020大会体験事業	2,188万1千円
その他 27件	地震等災害対策事業 小学校校舎等整備事業 地域スポーツ施設等整備事業 等	4,388万3千円

今年度地域観光行事予定

(令和2年7月21日現在)

日付	行事名	現時点で中止や変更があるもの
7/31～8/6	芦ノ湖夏祭りウィーク	} 花火やイベントは中止 (神事のみ実施、一般の方の参列は無し)
7/31	芦ノ湖湖水祭	
8/4	湖尻龍神祭	
8/5	鳥居焼祭り	
8/3	太閤ひょうたん祭り	イベント・模擬店は中止 (神事・花火は実施)
8/11	大平台温泉姫祭り	中止
8/14	宮城野木賀夏祭り	中止
8/14	二ノ平温泉夏祭り	中止
8/16	強羅大文字焼	花火やイベントは中止 (大の字への点火は実施)
8/1～8/31	箱根温泉灯街道	中止
9月秋分の日	仙石原すすきまつり	模擬店は中止 (花火は実施予定)
10月中旬	芦刈祭り	未決定
11/3	箱根大名行列	未決定

町内視察

総務企画観光
常任委員会

夏休みを前にして、町内観光6施設対象の感染症対策を主とした視察を実施しました。

各施設共通に、身体に接触する箇所の消毒をはじめ、それぞれ考えられた対策が施されていました。



ジオミュージアム



箱根関所

教育福祉環境
常任委員会

去る6月15日、付託された町道湯185号線及び町道箱100号線の変更について現地視察し、町当局と共に慎重に審査を行いました。いずれも一部現況がないことから土地の有効利用を目的として一部廃止し、道路区域を変更するものである。全会一致により可決すべきものと決定しました。



湯185号線



箱100号線

我が家の自慢



母親ハルは優秀な猟犬で、今は人懐っこい性格に変わってきてます。
息子のデコは食欲旺盛な育ち盛り。

イングリッシュセッターの
左：デコ（5歳）オス
右：ハル（8歳）メス

宮城野地区 稲葉さん

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送またはEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

広報広聴委員会
委員長 川口 延明
副委員長 勝保 泰彦
委員 勝保 剛一
村野由紀子
稲葉親太郎
折橋 尚道

9月定例会の日程(予定)

本会議 8月27日(木)、9月1日(火)、4日(金)、7日(月)、23日(水)

決算審議 9月14日(月)、15日(火)、17日(木)

※ 8月20日(木)開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局 (☎85-9570) までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。